

要 望 書

八代平野における農業農村整備事業の推進について

1. 老朽化した排水機場の更新
2. 農業農村整備事業、農山漁村地域整備交付金及び農地耕作条件改善事業並びに農業水路等長寿命化・防災減災事業の推進
3. 多面的機能支払交付金の推進



【八代海沿岸に広がる八代平野】

令和4年11月

熊本県八代市

八代平野は、一級河川の球磨川や二級河川の氷川などから流下した土砂が堆積してできた扇状地や三角洲等の沖積平野と、西暦1600年頃から始まる干拓事業により造成された低平地で形成され、現在では県内有数の農業地帯となっています。

海岸沿いの地域では、農業基盤の整備が図られ、これまでの水稲とい草を中心とした営農形態から、トマト、メロンなどの施設園芸や露地野菜への転換も進み、生産性の高い複合的な農業が営まれています。

しかしながら、近年の集中豪雨で作物の湛水被害が度々発生しており、今後の異常気象や上流域の宅地開発等により、優良農地が湛水常襲地帯となっていることが危惧されるところです。

また、国際情勢の不安定化により農業資材や燃料費が高騰し、老朽化した農業用施設等の維持管理に深刻な影響を与えていることから、強靱な農業基盤の整備が必要となっております。

そこで、本市の基幹産業である農業の持続的発展を図るため、以下の農業農村整備事業の推進を要望いたします。

1. 老朽化した排水機場の更新

干拓により造成された八代平野は、区画形状が整った県内でも有数の優良農地ですが、低平地であることから、これまで度々、集中豪雨による農作物の湛水被害に見舞われてきました。

そこで、湛水被害を解消するために、昭和37年から排水機場の整備に着手し、これまでに25箇所を設置したことにより、湛水被害が解消され、汎用化された農

2. 農業農村整備事業、農山漁村地域整備交付金及び農地耕作条件改善事業並びに農業水路等長寿命化・防災減災事業の推進

本市が推進する農業振興策や農作物のブランド戦略を展開するうえで、「農業農村整備事業」や「農山漁村地域整備交付金」、「農地耕作条件改善事業」並びに「農業水路等長寿命化・防災減災事業」による生産基盤の整備は、経営規模の拡大や農地集積の加速化を図り、産地としての競争力強化に繋がるものと大いに期待しております。

特に、平野部のほとんどが干拓による低平地で、日頃から排水不良の改善に苦慮していることから、これまでも各種の事業を活用しながら生産基盤の整備に取り組んできたところです。

しかし、当初予算が十分ではなく、また、補正予算では営農との調整により工事期間が限られる等、計画的な事業執行に支障を来しております。

つきましては、引続き、本市農業の振興に必要な事業を計画的に進めていくことができますよう、当初予算の確保を強く要望します。

3. 多面的機能支払交付金の推進

本事業では、令和3年度で広域1組織を含む24組織が農業用水路や農道などを対象とした基礎的保全活動や地域共同活動による農業用施設の保全管理、老朽化した施設の長寿命化に取り組んでいるところです。

また、新規地区の掘り起こしにつきましても、当該交付金が集落機能の維持向上に大いに繋がることから、組織化に向けた説明会の開催など積極的に取り組んでおります。

市としては広域組織化を進めており、今後も新たな活動組織の設立を推進していきたいと考えております。

つきましては、農業用排水施設の長寿命化や集落機能の維持向上の観点から、令和5年度以降におきましても、必要な予算の確保をお願いします。

以上、厳しい財政状況とは存じますが、八代地域の農業振興を図るため、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年11月

八代市長 中村博生